



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 ユーピーアール株式会社

コード番号 7065

URL <https://www.upr-net.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員

（氏名）酒田 義矢

問合せ先責任者（役職名）経営企画部長

（氏名）尾口 順一 TEL 03 (3593) 1728

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年8月期第1四半期 | 3,885 | 3.7 | 197 | △21.8 | 269 | 0.2 | 167 | △6.3 |
| 2023年8月期第1四半期 | 3,748 | 13.5 | 252 | 47.6 | 268 | △42.3 | 178 | △40.1 |

（注）包括利益 2024年8月期第1四半期 173百万円（△10.2％） 2023年8月期第1四半期 192百万円（△35.3％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年8月期第1四半期 | 21.86 | ー |
| 2023年8月期第1四半期 | 23.32 | ー |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年8月期第1四半期 | 21,759 | 8,571 | 39.1 |
| 2023年8月期 | 20,898 | 8,505 | 40.4 |

（参考）自己資本 2024年8月期第1四半期 8,497百万円 2023年8月期 8,436百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年8月期 | ー | 0.00 | ー | 14.00 | 14.00 |
| 2024年8月期 | ー | | | | |
| 2024年8月期（予想） | | 0.00 | ー | 15.00 | 15.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 7,876 | 5.9 | 490 | 6.0 | 590 | △0.4 | 383 | 2.3 | 50.12 |
| 通期 | 15,900 | 7.2 | 1,030 | 24.1 | 1,260 | 5.7 | 819 | 10.1 | 106.93 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年8月期1Q | 7,660,000株 | 2023年8月期 | 7,660,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年8月期1Q | 480株 | 2023年8月期 | 480株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年8月期1Q | 7,659,520株 | 2023年8月期1Q | 7,659,520株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費の回復基調を背景に緩やかな持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待される中で、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等が経済環境に与える影響には十分注意する必要があります。先行き不透明な状況が続いております。物流業界においては、トラックドライバーの時間外労働を制限する「2024年問題」への対応期限が目前に迫っております。何も対策を講じなければ2024年度には14%、2030年度には34%の輸送力不足の可能性があると言われており、政府は2023年の6月に商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について抜本的・総合的な対策をまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」、10月に2030年度の輸送力不足の解消に向け可能な施策の前倒しを図るため「物流革新緊急パッケージ」を決定し、トラックGメンによる荷主・元請事業者の監視体制について集中監視月間を設けるなど、「2024年問題」への対策を着々と進めております。レンタルパレットによるパレット輸送は、荷待ちや荷役時間の短縮に有効な手段であり、パレットの回収及び流失防止の仕組みもあることから高い関心を集めており、輸送用レンタルパレットの需要は順調に推移しました。保管用レンタルパレットの需要は、港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫向けで入庫減少があったものの、在庫水準は依然として前年同期の水準を維持しており、堅調に推移しました。企業の物流拠点投資も継続しており販売も堅調に推移しました。また、パレット保有枚数の増加により減価償却費は増加しました。販管費については、2023年9月よりベースアップを実施し、人件費が増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,885百万円（対前年同期比3.7%増）、営業利益は197百万円（同21.8%減）、経常利益は269百万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は167百万円（同6.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（物流事業）

物流の2024年問題への対応が迫られる中、輸送力不足により運べなくなるリスクを回避するためにパレット輸送は有効な手段であり、レンタルパレットによるパレット輸送は、パレットの回収業務の負担軽減及び流失防止の仕組みが充実しているため関心は高まっております。輸送用レンタルパレットにおいて、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は、順調に推移しました。また、パレット輸送が進んでいない業界へのアプローチも進めております。保管用レンタルパレットについては、港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫を中心として入庫減少があったものの、在庫量は依然として前年同期の水準を維持し、堅調に推移しました。また、海外事業は計画通り推移しました。物流IoT事業は、引き続き医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）が貢献しました。アシストスーツは、プロ仕様を追求したサポートジャケットBb+PROIIIを発売し、販路拡大に向けた展開を行っております。

以上の結果、物流事業では、売上高3,579百万円（対前年同期比1.7%増）、セグメント利益571百万円（同2.4%減）となりました。

（コネクティッド事業）

ICTにおいては、駐車場関連の遠隔監視ソリューションの機器販売が順調に推移しました。また、DXタグについては、家畜管理や物品管理等の事業化に向け、実証実験を進めております。カーシェアリングシステムについては、半導体不足による顧客のカーシェアリング車両の納入遅延の解消及び需要拡大により増車が進んだことから、車載器販売が順調に推移しました。また、つくば市での自主事業についても、会員の増加傾向が続いております。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高305百万円（対前年同期比34.8%増）、セグメント損失37百万円（前年同期はセグメント損失61百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が344百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ538百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産のうちレンタル資産（純額）が500百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は21,759百万円となり、前連結会計年度末に比べ860百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,091百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円増加したこと及び買掛金が324百万円増加した一方で、その他の流動負債が227百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は7,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が323百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ794百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,211,230 | 3,556,151 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,812,642 | 1,851,075 |
| 電子記録債権 | 119,211 | 147,978 |
| 商品 | 298,378 | 361,454 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18,791 | 18,475 |
| その他 | 576,923 | 424,650 |
| 貸倒引当金 | △4,868 | △4,726 |
| 流動資産合計 | 6,032,310 | 6,355,059 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| レンタル資産（純額） | 10,805,579 | 11,305,867 |
| その他（純額） | 2,536,331 | 2,475,683 |
| 有形固定資産合計 | 13,341,910 | 13,781,551 |
| 無形固定資産 | 751,325 | 785,923 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 784,784 | 848,773 |
| 貸倒引当金 | △11,950 | △11,950 |
| 投資その他の資産合計 | 772,834 | 836,823 |
| 固定資産合計 | 14,866,070 | 15,404,298 |
| 資産合計 | 20,898,381 | 21,759,358 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,023,634 | 2,348,188 |
| 短期借入金 | — | 1,000,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,514,658 | 1,408,552 |
| 未払法人税等 | 161,394 | 129,213 |
| 賞与引当金 | 237,284 | 359,269 |
| 役員賞与引当金 | — | 11,330 |
| その他 | 735,690 | 507,994 |
| 流動負債合計 | 4,672,661 | 5,764,549 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,791,924 | 6,468,314 |
| 役員退職慰労引当金 | 568,281 | 574,881 |
| 退職給付に係る負債 | 337,320 | 356,932 |
| 資産除去債務 | 15,900 | 15,947 |
| その他 | 6,439 | 6,877 |
| 固定負債合計 | 7,719,865 | 7,422,953 |
| 負債合計 | 12,392,526 | 13,187,502 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 96,000 | 96,000 |
| 資本剰余金 | 391,349 | 391,349 |
| 利益剰余金 | 7,935,004 | 7,995,192 |
| 自己株式 | △923 | △923 |
| 株主資本合計 | 8,421,430 | 8,481,617 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,808 | 9,808 |
| 為替換算調整勘定 | 5,167 | 6,047 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,975 | 15,855 |
| 非支配株主持分 | 69,448 | 74,382 |
| 純資産合計 | 8,505,854 | 8,571,856 |
| 負債純資産合計 | 20,898,381 | 21,759,358 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2022年11月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2023年11月30日） |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 3,748,077 | 3,885,463 |
| 売上原価 | 2,507,484 | 2,627,146 |
| 売上総利益 | 1,240,593 | 1,258,317 |
| 販売費及び一般管理費 | 988,492 | 1,061,277 |
| 営業利益 | 252,100 | 197,039 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1 | 265 |
| 受取補償金 | 32,151 | 73,872 |
| その他 | 8,143 | 9,999 |
| 営業外収益合計 | 40,295 | 84,137 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,032 | 10,506 |
| 為替差損 | 14,383 | — |
| その他 | 1,184 | 1,269 |
| 営業外費用合計 | 23,600 | 11,775 |
| 経常利益 | 268,795 | 269,400 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 225 | 90 |
| 特別利益合計 | 225 | 90 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 20 | 441 |
| 特別損失合計 | 20 | 441 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 269,000 | 269,050 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 138,093 | 136,920 |
| 法人税等調整額 | △55,538 | △39,677 |
| 法人税等合計 | 82,554 | 97,242 |
| 四半期純利益 | 186,445 | 171,808 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 7,861 | 4,387 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 178,583 | 167,420 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2022年11月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2023年11月30日） |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 186,445 | 171,808 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 528 | — |
| 為替換算調整勘定 | 5,889 | 1,426 |
| その他の包括利益合計 | 6,418 | 1,426 |
| 四半期包括利益 | 192,864 | 173,234 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 183,631 | 168,300 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 9,233 | 4,934 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前題に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|-----------|---------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | コネクティッド 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,521,359 | 226,718 | 3,748,077 | — | 3,748,077 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,521,359 | 226,718 | 3,748,077 | — | 3,748,077 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 584,949 | △61,498 | 523,450 | △254,655 | 268,795 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△254,655千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△254,659千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|-----------|---------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | コネクティッド 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,579,740 | 305,722 | 3,885,463 | — | 3,885,463 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,579,740 | 305,722 | 3,885,463 | — | 3,885,463 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 571,114 | △37,215 | 533,899 | △264,498 | 269,400 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△264,498千円には、セグメント間取引消去△1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264,497千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。